

【ユーザーレポート：ながた大腸肛門クリニック様】

〒850-0861 長崎県長崎市江戸町5-1 4 月香園本社ビル5 F

※ながた大腸肛門クリニック様
ホームページはこちら

オゾン水内視鏡殺菌機OED-1000

長崎県長崎市のながた大腸肛門クリニック様は、2001年に大腸肛門専門のクリニックとして開院。

開院当初より、患者様の費用面や入院等の負担が少ない肛門疾患の日帰り手術に力を入れられてきました。また年間約2000件の大腸内視鏡件を実施。直腸がんや大腸がんの早期発見にも力を入れられています。

2005年にオゾン水内視鏡洗浄機ONW-10を導入していただき、2012年にオゾン水内視鏡殺菌機OED-1000へ更新していただきました。導入経緯やご使用感を、長田康彦院長に伺いました。

—導入の経緯を教えてください

当院はビルの5階にあり、水圧が低いのですが、ONW-10、OED-1000は問題なく運転できました。また内視鏡消毒機の設置スペースが限られています。ONW-10、OED-1000の大きさはコンパクトで、シンク前のスペースも確保できるくらい収まりが良いです。またランニングコストも低く抑えられるため、導入を決めました。

—オゾンのイメージを教えてください

元々、オゾン水が食品分野において添加剤として認められていることを知っていました。従って人体に安全であるというイメージを持っていました。ONW-10を見たとき、食品分野で認められているオゾン水が医療分野へ転用された、という印象を持ちました。ウイルスや細菌への十分な殺菌データがあり、安心して使っています。また以前勤務していた病院では、薬剤の成分による目やのどの痛みを感じるスタッフがありました。OED-1000は刺激が少なく、患者様、医師、スタッフが同室する検査室で運転しても、影響がありません。

—貴院の感染対策で気を付けている点はあるでしょうか？

消毒作業等のため、検査の間隔を従来より空けています。またオゾンエアクリアeZ-2000を検査ベッドの横に設置し、検査中に運転させています。検査終了後には定期的にオゾンくん蒸運転をすることで検査室全体のオゾン除菌・脱臭を実施しています。内視鏡検査室の飛沫対策と脱臭に役立っています。内視鏡検査では、患者様の表情を見ることが大切です。コロナ禍が収まるまで、患者様のマスクを外して検査をするのが難しいのが実情です。またマスクを外して検査できる日が戻ってくると良いです。



↑
オゾン水内視鏡殺菌機
OED-1000：2012年設置。
シンクに対して垂直に設置。奥行きを取らないため洗浄作業の動線が確保されている。

↓
オゾンエアクリアZ-2000：
検査ベッドの横に設置。装置前面より吸引し、低濃度オゾンガス・HEPAフィルター・活性炭フィルターで浄化した空気を上部より放出する。高濃度のオゾンガスを放出する機能も搭載。

